

日本福祉大学学則

第1章 総則

第1節 目的

(目的)

第1条 本学は学校教育法に則り、人間及び社会に関する諸科学を総合的に教授研究し、高潔なる人格と豊かなる思想感情を培い、社会にとって有為な専門家であり、かつ地域社会に貢献できる人材を養成することを目的とし、広く人類社会の発展に寄与することを使命とする。

(教育の目標)

第2条 本学は、真理の探究と人間の尊厳を基に、21世紀の新しい福祉社会と持続可能な地域社会の構築に貢献する指導的人材を育成する。

2 学部・学科における教育の目標は、別に定める。

第2節 構成

(学部・学科)

第3条 本学に次の学部及び学科を置く。

社会福祉学部

社会福祉学科

経済学部

経済学科

福祉経営学部

医療・福祉マネジメント学科 (通信教育)

健康科学部

リハビリテーション学科

教育・心理学部

こども学科

学校教育学科

心理学科

国際学部

国際学科

看護学部

看護学科

スポーツ科学部
スポーツ科学科
工学部
工学科

(収容定員)

第4条 本学の収容定員は次のとおり定める。

社会福祉学部

社会福祉学科

入学定員	400名
編入学定員 (3年次)	40名
収容定員	1,680名

経済学部

経済学科

入学定員	240名
収容定員	960名

福祉経営学部

医療・福祉マネジメント学科 (通信教育)

入学定員	800名
編入学定員 (3年次)	400名
収容定員	4,000名

健康科学部

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

入学定員	40名
収容定員	160名

作業療法学専攻

入学定員	40名
収容定員	160名

教育・心理学部

こども学科

入学定員	120名
収容定員	480名

学校教育学科

入学定員	95名
収容定員	380名

心理学科

	入学定員	100名
	収容定員	400名
国際学部		
国際学科		
	入学定員	80名
	収容定員	320名
看護学部		
看護学科		
	入学定員	100名
	収容定員	400名
スポーツ科学部		
スポーツ科学科		
	入学定員	180名
	収容定員	720名
工学部		
工学科		
	入学定員	100名
	収容定員	400名

(大学院)

第5条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する学則は別に定める。

(付置機関)

第6条 本学に次の付置機関を置く。

- (1) 全学教育センター
- (2) 社会福祉実習教育研究センター
- (3) 総合教職実践センター
- (4) 学生支援センター
- (5) 災害ボランティアセンター
- (6) 福祉社会開発研究所
- (7) 知多半島総合研究所
- (8) 健康科学研究所
- (9) パラスポーツ研究所
- (10) 心理臨床研究センター
- (11) 看護実践研究センター
- (12) ウェルビーイング工学研究センター
- (13) 生涯学習センター

- (14) スポーツ科学センター
- (15) 減災支援教育研究センター
- (16) 日本語教育センター
- (17) FUKUSHI ACADEMY

2 各付置機関に関する規則は別に定める。

(付属図書館)

第7条 本学に付属図書館を置く。

2 付属図書館に関する規則は別に定める。

第3節 職員組織

(職員)

第8条 本学に次の職員を置く。

- (1) 学長
- (2) 教授・准教授・講師・助教・助手
- (3) 事務職員

(教学役職者)

第8条の2 学長のもと、本学に次の教学役職者を置く。

- (1) 副学長
- (2) 総合企画室長
- (3) 教務部、学生部、入試部及び就職部の各部長
- (4) 総合研究機構長
- (5) 地域連携推進機構長
- (6) 減災連携・支援機構長
- (7) 社会福祉学部、経済学部、福祉経営学部、健康科学部、教育・心理学部、国際学部、看護学部、スポーツ科学部及び工学部の各学部長
- (8) 全学教育センター長
- (9) 大学院委員長
- (10) 付属図書館長

2 学長は、必要に応じて、学長補佐のほか、必要な教学役職者を置くことができる。

3 学長が置くその他の教学役職者については別に定める。

第4節 評議会・教授会

(評議会)

第9条 本学に、本学の重要事項を審議するため評議会を置く。

- 2 評議会は次の各号に掲げる評議員をもって組織する。
 - (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 学長補佐
 - (4) 総合企画室長
 - (5) 教務部、学生部、入試部及び就職部の各部長
 - (6) 総合研究機構長
 - (7) 地域連携推進機構長
 - (8) 減災連携・支援機構長
 - (9) 社会福祉学部、経済学部、福祉経営学部、健康科学部、教育・心理学部、国際学部、看護学部、スポーツ科学部及び工学部の各学部長
 - (10) 全学教育センター長
 - (11) 大学院委員長
 - (12) 福祉社会開発研究科、社会福祉学研究科、医療・福祉マネジメント研究科、国際社会開発研究科、看護学研究科及びスポーツ科学研究科の各研究科長
 - (13) 附属図書館長
 - (14) 本則第3条に定める設置学部における各教授会構成員から選出された者。
なお本号により選出される評議員は一学部あたり1名以上2名以下とする
 - (15) 学園事務局長
 - (16) 大学事務局長
- 3 評議会が審議し、学長が決定する事項は、次の各号に掲げるものとする。
 - (1) 学則及びそれに付属する諸規則の制定・改廃に係わる事項
 - (2) 学部・学科その他重要な施設の設置・廃止に関する事項
 - (3) 大学の将来計画に係わる事項
 - (4) 教員人事に関する基本事項（教員採用計画・教員組織に関する基本方針）
 - (5) 研究に関する基本事項
 - (6) 大学院に関する基本事項
 - (7) 附属機関運営の基本方針に関する事項
 - (8) 大学広報・学生募集・就職に関する基本事項
 - (9) 入学試験に関する基本事項
 - (10) 学生指導に関する基本事項
 - (11) 年度毎の事業計画及び教育計画に関する基本事項
 - (12) 附属付置機関長等の選任に関する事項

- (13) 全学的教育の推進・実施に関する事項
 - (14) 教員の人事制度改革に関する事項
 - (15) 教育・研究等の点検・評価に関する事項
 - (16) その他大学全体に関する重要事項で大学評議会が必要と認める事項
- 4 評議会に関する必要な事項は別に定める。
(教授会)

第10条 本学に教授会を置く。

- 2 教授会は、教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。
- 3 教授会の審議結果の進達を受けて、学長が決定する事項は、次の各号に掲げるものとする。ただし、全学部の審議を要する事項については、これを除く。
- (1) 学生の進級・留年又は卒業に関する事項
 - (2) 学生の学籍に関する事項
 - (3) 入学試験に関する事項
 - (4) 学部学生の指導に関する事項
 - (5) 教員人事（学部長の選出、昇格審査、専任教員の任免、非常勤講師の委嘱・派遣等）に関する事項
 - (6) 大学評議員の選出
 - (7) 学部の将来計画に関する事項
 - (8) 学部の諸規程の制定・改廃に関する事項
 - (9) 学部の教育計画に関する事項
 - (10) 学部の研究に関する事項
 - (11) 学部の教育・研究の点検・評価に関する事項
 - (12) 学部のFDに関する事項
 - (13) 大学評議会が審議し、学長が必要と認める事項
 - (14) その他、学部長及び教授会が必要と認める事項
- 4 教授会に関する必要な事項は別に定める。

第5節 学年・学期及び休業日

(学年)

第11条 学年は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第12条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月15日まで

後学期 9月16日から翌年3月31日まで

- 2 学長が必要と認めた場合は、前項の期間を臨時に変更することができる。

(休業日)

第13条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める日
 - (3) 本学創立記念日6月6日
 - (4) 春季休業日
 - (5) 夏季休業日
 - (6) 冬季休業日
- 2 学長が必要と認めた場合は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
 - 3 学長は第1項に定めるもののほか、臨時の休業日を定めることができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年数

(修業年限)

第14条 学部の修業年限は4年とする。

(在学年数)

第15条 学生が卒業までに在学すべき年数は4年とする。また、学生は8年を超えて在学することができない。

第2節 入学

(入学の時期)

第16条 入学の時期は、学年始とする。

(入学資格)

第17条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

- (6) 文部科学大臣の指定した者
 - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
- （入学の出願）

第18条 入学志願者は、所定の入学願書に第56条に定める入学検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願出しなければならない。

（入学志願者の選考）

第19条 前条の入学志願者の選考は、調査書、学科試験及びその他必要な書類などによって行なう。

（入学許可及び入学手続）

第20条 前条の選考の結果、入学を許可された者は、指定された期日までに、保証人2名連署の在学誓書及び所定の書類を提出し、別に定める学費を納めなければならない。

2 入学を許可された者が前項に定める手続を行なわないときは、入学許可はその効力を失う。

（保証人）

第21条 保証人は、入学生に係る一切の責任を負うことのできる独立生計者2名とし、次の各号の定めるところにより1名を正保証人、他の1名を副保証人とする。

(1) 正保証人は父母又はこれに準ずるものとする。

(2) 副保証人は親族又はこれに準ずるものとする。

2 保証人が死亡、その他の理由により、その責任を負うことのできないときは、新たに保証人を定めなおして在学誓書を提出しなければならない。

（改姓等）

第22条 学生又は保証人が改姓・改名・転籍、転居をしたときは、ただちに証明書類を添えて、その旨を届けなければならない。

（編入学・転入学）

第23条 次の各号の一に該当する者で、本学に編入学又は転入学を願出たときは、第4条の編入学定員の定めにより、選考のうえ入学を許可する。ただし、編入学定員を定めていない学部学科で、定員に余裕のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者又は退学した者

(2) 短期大学、高等専門学校、国立養護教諭養成所又は国立工業教員養成所を卒業した者

(3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定によ

- り大学に編入学することができる者
- (4) 高等学校等の専攻科を修了した者のうち、学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる者
 - (5) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者
 - (6) 第1号、第2号に相当する外国の大学等を卒業した者
- 2 本学へ編入学又は転入学を志願する者は第56条に定める入学検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願出しなければならない。
 - 3 第1項の定めにより入学を許可された者の、すでに履修した授業科目及び単位数ならびに在学すべき年数の認定は教授会が行なう。
 - 4 本条により入学した学生の在学すべき年数は、第15条の定めにかかわらず2年次に編入学又は転入学した場合は3年、3年次に編入学又は転入学した場合は2年とする。
 - 5 本条により入学した学生は、第15条の定めにかかわらず前項に定める在学すべき年数の2倍の年数を超えて在学することはできない。
 - 6 その他、本学への編入学及び転入学に関する規則については別に定める。

第3節 教育課程及び履修方法等

（授業科目）

第24条 本学の授業科目は、総合基礎科目、専門基礎科目、専門科目及び自由科目で構成される。

- 2 それぞれの科目区分のもとに設置される授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。
- 3 授業科目の履修に関する規則については別に定める。

（メディアを利用して行う授業）

第25条 多様なメディアを高度に利用して行う授業は、パーソナルコンピューターその他双方向の通信手段によって行う。

- 2 前項の授業を実施する授業科目については、授業科目履修規程において定める。
- 3 第1項により修得する単位については、卒業の要件として修得する単位として60単位を超えないものとする。

（単位計算方法）

第26条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目には45時間の学修を要することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業科目による教育効果及び授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 授業時間が法令、規則等により定めのある場合は(1)、(2)によらず、これに従う。
 - (4) 1の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して各学部が定める授業時間をもって1単位とする。
 - (5) 前3号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を与えることができる。
- 2 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

(年間授業実施週)

第27条 1年間の授業週は、35週を下らないものとする。

- 2 各授業科目の授業は、十分な教育効果を上げることを前提として、8週、10週、15週、その他大学が定める期間を単位として行う。

(教育課程の編成)

第28条 教育課程は、別表1に定める授業科目を各年次に配当して編成するものとする。

(履修届)

第29条 学生は、履修しようとする授業科目を毎学年所定の期間内に届出なければならない。

(他大学・他学部等における授業科目の履修)

第30条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学における履修により修得した授業科目の単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学における履修により修得した授業科目の単位認定に際しても準用する。
- 3 学生が休学中に他大学等で学修した授業科目の単位についても前二項の規定を適用する。
- 4 学生は、他学部(他学科・他専攻を含む)開講科目のうち、大学の指定する授業科目について履修することができる。
- 5 第1項から第4項により履修した授業科目について修得した単位については、60単位を限度として所属学部において修得した単位とみなすことができる。
- 6 前5項の実施に関して必要な事項は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第31条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行なう短期大学又は、高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項から第3項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前1項の実施に関して必要な事項は別に定める。

(卒業単位)

第32条 本学を卒業するためには、次の各号に定める学部所定の単位を修得しなければならない。

(1) 社会福祉学部

社会福祉学科

総合基礎科目 24単位以上

専門科目 66単位以上

総合基礎科目と専門科目あわせて124単位以上を修得しなければならない。

(2) 経済学部

経済学科

総合基礎科目 26単位以上

専門科目 68単位以上

総合基礎科目と専門科目あわせて124単位以上を修得しなければならない。

(3) 健康科学部

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

総合基礎科目 14単位以上

専門基礎科目・専門科目 120単位以上

総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計134単位以上を修得しなければならない。

作業療法学専攻

総合基礎科目 14単位以上

専門基礎科目・専門科目 119単位以上

総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計133単位以上を修得しなければならない。

(4) 教育・心理学部

こども学科

総合基礎科目 28単位以上

専門科目 66単位以上

総合基礎科目と専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

学校教育学科

総合基礎科目 28単位以上

専門科目 66単位以上

総合基礎科目と専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

心理学科

総合基礎科目 28単位以上

専門科目 66単位以上

総合基礎科目と専門科目あわせて計 124 単位以上を修得しなければならない。

(5) 国際学部

国際学科

総合基礎科目 30単位以上

専門基礎科目・専門科目 64単位以上

総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計 124 単位以上を修得しなければならない。

(6) 看護学部

看護学科

総合基礎科目 16単位以上

専門基礎科目・専門科目 108単位以上

総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計 124 単位以上を修得しなければならない。

(7) スポーツ科学部

スポーツ科学科

総合基礎科目 20単位以上

専門科目 76単位以上

総合基礎科目・専門科目あわせて計 124 単位以上を修得しなければならない。

(8) 工学部

工学科

総合基礎科目 10単位以上

専門基礎科目・専門科目 80単位以上

総合基礎科目と専門基礎科目・専門科目あわせて計124単位以上を修得しなければならない。

- 2 全学教育センター科目は、総合基礎科目として卒業単位に算入する。
- 3 第55条に定める外国人及び帰国生徒が、外国人・帰国生徒の特例科目の単位を修得したときは、これらの単位をもって別に定める所定の科目に代えることができる。

(資格)

第33条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。

本学の学部の学科において当該所要資格を修得できる教員の免許状の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

学部・学科	教員の免許状の種類	免許教科
社会福祉学部 社会福祉学科	高等学校教諭一種免許状	福祉
経済学部 経済学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 地理歴史
教育・心理学部 こども学科	幼稚園教諭一種免許状	
教育・心理学部 学校教育学科	小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者 肢体不自由者）	社会 特別支援教育
国際学部 国際学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語
スポーツ科学部 スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 （知的障害者 肢体不自由者）	保健体育 保健体育 特別支援教育

- 2 社会福祉学部社会福祉学科で、社会福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。

- 3 社会福祉学部社会福祉学科で精神保健福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、精神保健福祉士法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。
- 4 教育・心理学部こども学科で、保育士の資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、児童福祉法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。
- 5 健康科学部リハビリテーション学科では、前条に定める科目を取得することにより、理学療法学専攻では理学療法士国家試験受験資格が、作業療法学専攻では作業療法士国家試験受験資格を取得することができる。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 6 看護学部看護学科では、前条に定める科目を修得することにより、看護師国家試験受験資格を取得することができる。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 7 看護学部看護学科で保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 8 工学部工学科で、一級建築士又は二級・木造建築士受験資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 9 社会福祉学部社会福祉学科で、スクールソーシャルワーカーの資格を取得しようとする者は、前条に定めるほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に係る履修に関する規則は別に定める。
- 10 経済学部で社会調査士を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 11 初級パラスポーツ指導員資格を取得しようとする者は、前条に定めるもののほか、所定の単位を修得しなければならない。資格取得に関わる履修に関する規則は別に定める。
- 12 教育・心理学部心理学科で、公認心理師取得のための学士課程における基礎要件を取得しようとする者は、前条に定めるほか、所定の単位を修得しなければならない。基礎要件取得に係る履修に関する規則は別に定める。

(単位の認定)

第34条 各授業科目の単位付与は、試験その他の大学が定める適切な方法により学修の成果を評価して実施するものとする。

2 試験に関する規則は別に定める。

(既修得単位の認定)

第35条 本学入学以前に、大学又は短期大学において修得した単位及び特別に本学が認めた教育課程により修得した単位について、教育上有益と認められるときは本学において修得した単位として認定することができる。

2 前項により、認定できる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学で修得した単位以外のものについては、第30条第1項から第3項及び第31条第1項により大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 その他既修得単位の認定に関する規則については別に定める。

(成績)

第36条 試験の成績はS・A・B・C及びDの5段階とし、S・A・B・Cは合格、Dは不合格とする。

2 学生ごとの学修管理指標として、前項に定める成績ごとに以下の指数を乗じて科目の単位数で加重平均したGPA (Grade Point Average) を供する。

S=4ポイント

A=3ポイント

B=2ポイント

C=1ポイント

DまたはK=0ポイント

第4節 休学・復学・転学・転部・転科・退学・除籍・再入学

(二重学籍の禁止)

第37条 学校教育法に定める他の大学院、大学、短期大学に正規学生、専攻科生、別科生、研究生として在籍する者は、本学に正規学生又は研究生として入学できない。

2 本学に正規学生又は研究生として在籍する者は、学校教育法に定める他の大学院、大学、短期大学の正規学生、専攻科生、別科生、研究生として在籍できない。

(休学)

第38条 疾病又はやむを得ない理由により一学期間以上就学することができない者に対して休学を許可することがある。

2 休学の許可を受けようとする者は、医師の診断書又は詳細な理由書を添えて、保証人連署の上、願い出なければならない。

(休学期間)

第39条 休学期間は1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、休学期間の延長を認めることがある。

2 休学期間は通算して4年を超えることができない。また第23条により入学した者は、同条第4項に定める在学すべき年数を超えることができない。

3 休学期間は第15条及び第23条第4項の在学年数に算入しない。

(復学)

第40条 休学期間が満了した者及び休学期間満了以前に復学しようとする者は、保証人連署の上、復学を願い出なければならない。

(転学)

第41条 他の大学へ転学しようとする学生が、保証人連署の上願い出た場合には、事情により許可することがある。

(転籍)

第42条 学内の他の学部あるいは所属学部内の他の学科等へ転籍を希望する者のあるときについては、定員に余裕のある場合に限り、選考のうえ許可することがある。

2 転籍を志願する者は第56条に定める検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願い出なければならない。

3 転籍に関する事項は別に定める。

(退学)

第43条 疾病又はやむを得ない理由により退学しようとする者は、医師の診断書又は、詳細な理由書を添えて、保証人連署の上、願い出て許可を受けなければならない。

(除籍)

第44条 次の各号の一に該当する者は除籍する。

(1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第15条及び第23条第4項で定める在学年数を超えた者

(3) 第39条第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない者

(4) 死亡した者

(再入学)

第45条 第43条により退学した者又は前条第1号により除籍された者が、1年以内に保証人連署をもって再入学を願い出た時は、選考の上再入学を許可することがある。

第5節 卒業及び学位の授与

(卒業)

第46条 本学に4年（第23条第1項の定めるところにより入学した者については、同条第3項により定められた在学すべき年数）以上在学、かつ第4学年を修了し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

(学位の授与)

第47条 本学を卒業した者には、本学学位規則の定めるところにより学位を授与する。

第6節 賞罰

(表彰)

第48条 学生で他の模範となる行為があった場合は、表彰することがある。

(懲戒)

第49条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、その情状により次の懲戒を加える。

- (1) 訓告
- (2) 停学
- (3) 退学

2 前項第3号の退学は、次の各号の一に該当する者に対して命ずる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

第7節 厚生施設

(学生寮)

第50条 削除

(保健室)

第51条 本学に保健室を置く。

第8節 研究生・科目等履修生・聴講生・外国人留学生

(研究生)

第52条 本学において特定の専門事項について研究しようとする者があるときは、

教育・研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生として許可することがある。

- 2 研究生に関する規則は別に定める。
- 3 研究生の入学検定料等納付金については別表6のとおりとする。
(科目等履修生)

第53条 本学における授業科目のうち、1科目又は数科目を選択して受講しようとする者がいるときは、本学の教育に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生として許可することがある。

- 2 科目等履修生の入学検定料等納付金については別表7のとおりとする。
- 3 本学における授業科目のうち、特に「幼稚園教諭免許取得に関する特例科目」及び「保育士資格取得に関する特例科目」を受講しようとする者がいるときは、本学の教育に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生（幼保特例）として許可することがある。
- 4 科目等履修生（幼保特例）に係る入学検定料等納付金については別表10のとおりとする。
- 5 その他科目等履修生及び科目等履修生（幼保特例）に関する規則は別に定める。

(聴講生)

第54条 本学において特定の専門事項について研究しようとするものがあるときは、教育・研究に支障のない限り、選考のうえ、聴講生として許可することがある。

- 2 聴講生に関する規則は別に定める。
- 3 聴講生の入学検定料等納付金については別表8のとおりとする。
(外国人留学生)

第55条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 前項の外国人留学生に対しては、第24条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

第9節 入学検定料・学費

(入学検定料・転籍試験検定料)

第56条 入学検定料及び転籍試験検定料は別表2のとおりとする。

- 2 学長が必要と認めた場合は、前項にかかわらず減免を行なうことができる。
(学費等)

第57条 学費は別表3のとおりとする。

- 2 前項に定めるもののほか、課程登録費を別表4、実習費等を別表5のとおり徴収する。

- 3 第1項に定めるもののほか、授業の履修に際して教材以外の必要諸経費を徴収する場合の、授業科目、徴収金額等は別に定める。
- 4 休学者（休学期間が学期初めから、学期末までの全期間にわたる場合）については当該学期の学費は徴収しない。ただし、在籍料を徴収する。在籍料は別表9のとおりとする。
- 5 学費の納付に関する規則は別に定める。
(納付した検定料・学費)

第58条 納付された入学検定料・学費の返還の取り扱いについては別に定める。

第10節 通信教育課程

(通信教育課程)

第59条 本大学に通信教育課程を置く。

- 2 通信教育課程に関し、本学則に定めのない事項については別に定める。

附 則

本学則の附則において特に定めのない場合は、改正施行された学則は改正年度以降の入学者に適用して、当該年度より前の入学者については従前の学則を適用する。また、編転入、転籍の場合は当該学生の1年次入学に当たる年度に遡った学則を適用する。

- 1 本学則施行に必要な規則は、別に定める。
- 2 本学則は、昭和32年4月1日より施行する。
- 3 本学則は、昭和34年4月1日より一部改正施行する。
- 4 本学則は、昭和35年4月1日より一部改正施行する。
- 5 本学則は、昭和36年4月1日より一部改正施行する。
- 6 本学則は、昭和37年4月1日より一部改正施行する。
- 7 本学則は、昭和38年4月1日より改正施行する。
- 8 本学則は、昭和39年4月1日より一部改正施行する。
- 9 本学則は、昭和41年4月1日より一部改正施行する。
- 10 本学則は、昭和45年4月1日より一部改正施行する。
- 11 本学則は、昭和46年4月1日より一部改正施行する。
- 12 本学則は、昭和47年4月1日より一部改正施行する。
- 13 本学則は、昭和49年4月1日より改正施行する。

ただし、本学則の施行の際現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第48条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者に係る

学費は、新学則第48条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。また、入学検定料の額は、昭和48年10月1日より改正施行するものとする。

- 14 本学則は、昭和50年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則第3条に定める学生定員のうち、社会福祉学部第1部社会福祉学科の総学生定員数は、昭和50年度を初年度とする学生定員変更の完成年次の学生数を示すものとする。

また、本学則の施行の際、現に第3年次以上に在学する者の授業科目及び卒業単位は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第23条第2項別表1及び第27条の規定にもかかわらず従前の例による。

なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者の授業科目及び卒業単位は、当該者の属する年次の在学者と同様とする。入学検定料の額は、昭和49年10月1日より改正施行するものとする。

- 15 本学則は、昭和51年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則第3条に定める学生定員のうち、経済学部経済学科の総学生定員数は、昭和51年度を初年度とする学部設置の完成年次の学生数を示すものとする。

また、入学検定料の額は昭和50年10月1日から改正施行するものとする。

- 16 本学則は、昭和52年4月1日より一部改正施行する。

ただし、入学検定料の額は、昭和51年10月1日から改正施行するものとする。

- 17 本学則は、昭和52年10月1日より一部改正施行する。

- 18 本学則は、昭和54年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則の施行の際、現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第49条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

また、入学検定料の額は昭和53年10月1日から施行する。

- 19 本学則は、昭和55年4月1日より一部改正する。

ただし、入学検定料の額は昭和54年10月1日から施行する。

- 20 本学則は、昭和56年4月1日より一部改正施行する。

- 21 本学則は、昭和56年10月1日より一部改正施行する。

- 22 本学則は、昭和57年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則の施行の際、現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第49条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学を

した者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 23 本学則は、昭和58年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則第3条に定める学年定員のうち社会福祉学部第一部社会福祉学科の総学生定員数は昭和58年度を初年度とする学生定員変更の完成年次の学生数を示すものとする。

- 24 本学則は、昭和59年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則施行の際、現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第49条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学した者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 25 本学則は、昭和60年4月1日より一部改正施行する。

- 26 本学則は、昭和60年10月1日より一部改正施行する。

- 27 本学則は、昭和61年4月1日より一部改正施行する。

ただし、本学則第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
社会福祉学部 第一部 社会福祉学科	400人
社会福祉学部 第二部 社会福祉学科	200
経済学部 経済学科	300

- 28 本学則は、昭和61年10月1日より一部改正施行する。

- 29 本学則は、昭和62年4月1日より改正施行する。

- 30 本学則は、昭和62年8月1日より改正施行する。

- 31 本学則は、昭和63年4月1日より改正施行する。

ただし、本学則施行の際、現に在学する者に係る学費の額は、改正後の学則（以下「新学則」という。）第49条第1項の規定にもかかわらず従前の例による。なお、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学した者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

- 32 本学則は、平成元年4月1日より施行する。

昭和63年度以前の入学者は従前の例による。

ただし、第23条については昭和63年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲については別に定める。

- 33 本学則は、平成元年10月1日より一部改正施行する。

- 34 本学則は、平成2年4月1日より改正施行する。
平成元年度以前の入学者は従前の例による。
ただし第23条については平成元年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲については別に定める。
また、新学則の施行の日以後において編入学、転入学、復学又は再入学をした者に係る学費は、新学則第49条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。
- 35 本学則は、平成2年10月1日より一部改正施行する。
- 36 本学則は、平成3年4月1日より改正施行する。
平成2年度以前の入学者は従前の例による。
ただし、本学則第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
社会福祉学部 第1部 社会福祉学科	500人
社会福祉学部 第2部 社会福祉学科	200
経 済 学 部 経 済 学 科	400

- また、第23条については平成2年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
また、第29条第2項の地理歴史ならびに公民の免許教科については、平成2年度入学生から適用する。
- 37 本学則は、平成3年9月15日より一部改正施行する。
- 38 本学則は、平成4年4月1日より改正施行する。
平成3年度以前の入学者は、第49条を除き従前の例による。
また、第23条については平成3年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
- 39 本学則は、平成5年4月1日より改正施行する。
平成4年度以前の入学者は、第49条を除き従前の例による。
また、第23条については平成4年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
- 40 本学則は、平成6年4月1日より改正施行する。
平成5年度以前の入学者は、第51条を除き従前の例による。
また、第23条については平成5年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。
- 41 本学則は、平成6年10月1日より一部改正施行する。
- 42 本学則は、平成7年4月1日より一部改正施行する。

ただし、第23条については平成6年度以前の学生にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。

- 43 本学則は、平成8年4月1日より一部改正施行する。

平成7年度以前の入学者は第29条、第52条を除き従前の例による。

ただし、第23条については平成7年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。

また、本学則第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等			入 学 定 員
社会福祉学部	第1部	社会福祉学科	500人
社会福祉学部	第2部	社会福祉学科	200
経済学部		経済学科	200
		経営開発学科	200
情報社会科学部		情報社会科学科	190

- 44 本学則は、平成9年4月1日より一部改正施行する。

平成8年度以前の入学者は、第52条を除き従前の例による。

ただし、第23条については平成8年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による範囲は別に定める。

- 45 本学則は、平成10年4月1日より一部改正施行する。

平成8年度以前の入学者は第29条を除き従前の例による。

平成9年度以前の入学者は第53条を除き従前の例による。

ただし、第23条については平成8年度以前の入学者にも適用するが、入学年度による適用範囲は別に定める。

- 46 本学則は、平成10年10月1日より一部改正施行する。

- 47 本学則は、平成11年4月1日より一部改正施行する。

平成10年度以前の入学者については、第23条の適用範囲を別に定める。第29条については従前の例による。

- 48 本学則は、平成12年4月1日より一部改正施行する。

平成11年度以前の入学者については、第23条の適用範囲を別に定める。第30条については、従前の例による。また、社会福祉学部第1部社会福祉学科は、本学則第2条の規定にかかわらず、平成12年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。社会福祉学部第2部社会福祉学科に在籍する者は、平成15年3月31日までは同部同学科に在

- 56 本規則は、平成17年4月1日より一部改正施行する。
- 57 本規則は、平成17年7月1日より一部改正施行する。
- 58 本規則は、平成18年4月1日より一部改正施行する。
- 59 本規則は、平成19年4月1日より一部改正施行する。ただし、保育士養成及び特別支援学校教諭一種免許に関する事項については平成19年4月1日の新入学者からの適用とし、編入学者には学年の進行に伴って適用する。それ以外の入学者の取り扱いは従前の例による。
- 60 本規則は、平成20年4月1日より一部改正施行する。
平成19年度以前の入学者については、第24条の適用範囲を別に定める。第32条、第33条及び第57条については、従前の例による。また、社会福祉学部心理臨床学科、情報社会科学部人間福祉情報学科、情報社会科学部生活環境情報学科及び福祉経営学部国際福祉開発マネジメント学科は、本学則第3条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
なお、保育士養成の定員については平成20年4月1日の新入学者からの適用とし、それ以前の入学者は従前の例による。
- 61 本規則は、平成21年4月1日より一部改正施行する。
- 62 本規則は、平成22年4月1日より一部改正施行する。
- 63 本規則は、平成23年4月1日より一部改正施行する。
平成22年度以前の入学者については、第24条の適用範囲を別に定める。第32条、33条、46条及び57条については従前の例による。また、社会福祉学部社会福祉科夜間主コース、社会福祉学部保健福祉学科、福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科は、本学則第3条の規定にかかわらず、平成26年3月31日に当該学科に在籍する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 64 本規則は、平成24年4月1日より一部改正施行する。
ただし、社会福祉学部の平成23年度以前の入学者については別表1の授業科目の定めにかかわらず従前の例による。
- 65 本規則は、平成25年4月1日より一部改正施行する。
ただし、健康科学部福祉工学科健康情報専攻及びバリアフリーデザイン専攻は、本学則第4条の規定にかかわらず、平成28年3月31日に当該専攻に在籍する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
平成24年度以前の入学者については、別表5の社会福祉学部「海外フィールドワーク」、経済学部経済学科「海外事情研究」、「海外フィールドワークⅡ」、福祉経営学部「海外事情研究」「海外フィールドワークⅢ」、健康科学部「国際理解」、子ども発達学部「海外フィールドワーク」、及び国際学部「国際フィールドワークⅠ」「国際フィールドワークⅡ」に係る実習費、ならびに第32

条第2項を除き、従前の例による。

66 本規則は、平成26年4月1日より一部改正施行する。

67 本規則は、平成26年5月24日より一部改正施行する。

68 本規則は、平成27年4月1日より一部改正施行する。

平成26年度以前の入学者については、別表1に規定する各学科の設置科目「ビジネススキル」、「インターンシップⅠ」、「インターンシップⅡ」、「インターンシップⅢ」、「インターンシップⅣ」及び全学教育センター科目「ふくしとフィールドワーク」、「知多半島のふくし」、「ふくしと減災コミュニティ」を除き、従前の例とする。

69 本学則は、平成27年9月1日より一部改正施行する。

70 本学則は、平成28年4月1日より一部改正施行する。

平成27年度以前の入学者については、別表1に規定する各学科の設置科目「社会福祉特別講座Ⅰ」、「社会福祉特別講座Ⅱ」、「社会福祉特別講座Ⅲ」、「ローカルフィールドワークⅠ」、「ローカルフィールドワークⅡ」、「ローカルフィールドワークⅢ」、「ローカルフィールドワークⅣ」及び全学教育センター自由科目「スポーツ・文化特講Ⅰ」、「スポーツ・文化特講Ⅱ」を除き、従前の例とする。

71 本学則は、平成28年6月1日より一部改正施行する。

72 本学則は、平成29年4月1日より一部改正施行する。

73 本学則は、平成30年4月1日より一部改正施行する。

ただし、平成29年度以前の入学者は、別表9の在籍料の定めにかかわらず従前の例による。

74 本学則は、平成31年4月1日より一部改正施行する。ただし別表1に定める授業科目の内（1）社会福祉学部「キャリア形成支援Ⅰ」「キャリア形成支援Ⅱ」は平成29年度1年次入学生より、（2）経済学部「日本語表現Ⅴ」「日本語表現Ⅵ」「日本語表現Ⅶ」「日本語表現Ⅷ」は平成30年度1年次入学生より、（8）全学教育センター「ヒューマンケアのための多職種連携」は平成31年4月1日時点での在籍者に遡及適用する。

75 本学則は、令和2年4月1日より一部改正施行する。ただし、子ども発達学部子ども発達学科及び、子ども発達学部心理臨床学科は、本学則第3条の規定にかかわらず、当該学部、学科の学生が在籍する限りにおいて存続するものとする。また、別表1に定める授業科目のうち、（5）国際福祉開発学部「ビジネス日本語」「アカデミックライティング」は平成29年度1年次入学生より遡及適用する。

76 本学則は、令和3年4月1日より一部改正施行する。

77 本学則は、令和4年4月1日より一部改正施行する。

- 78 本学則は、令和5年4月1日より一部改正施行する。
- 79 本学則は、令和6年4月1日より一部改正施行する。ただし、国際福祉開発学部国際福祉開発学科は、本学則第3条の規定にかかわらず、当該学部、学科の学生が在籍する限りにおいて存続するものとする。
- 80 本学則は、令和7年4月1日より一部改正施行する。ただし、健康科学部福祉工学科及び教育・心理学部子ども発達学科は、本学則第3条の規定にかかわらず、当該学科の学生が在籍する限りにおいて、健康科学部リハビリテーション学科介護学専攻は、本学則第4条の規定にかかわらず、当該専攻の学生が在籍する限りにおいて存続するものとする。また、改正後の学則の施行日以後において編入学、転入学、復学又は再入学した者に係る学費は、新学則第57条第1項の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

別表 1

(1) 社会福祉学部

①総合基礎科目

社会福祉学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
総合演習		4	情報処理演習Ⅰ	2	
日本国憲法		2	情報処理演習Ⅱ		2
哲学		2	スポーツ		2
法学		2	海外フィールドワーク		4
社会福祉入門		2	福祉データ処理演習		2
ボランティア論		2	スポーツ研究		2
現代コミュニケーション論		2	言語と文化Ⅰ		1
フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1	1		言語と文化Ⅱ		1
フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2	1		ロジカルシンキング		2
フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1	1		総合政策基礎教養		1
フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2	1		日本福祉大学の歴史と学び	2	

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

社会福祉学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
日本語と文化Ⅰ-1	1		日本語と文化Ⅲ-2	1	
日本語と文化Ⅰ-2	1		日本語と文化Ⅳ-1	1	
日本語と文化Ⅱ-1	1		日本語と文化Ⅳ-2	1	
日本語と文化Ⅱ-2	1				
日本語と文化Ⅲ-1	1				

②専門科目

社会福祉学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
社会学		2	ソーシャルワーク演習Ⅰ		1
心理学		2	ソーシャルワーク演習Ⅱ		1
社会福祉原論Ⅰ	2		ソーシャルワーク実習入門		1
高齢者福祉論		2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1
児童・家庭福祉論		2	児童心理学		2
社会福祉調査論		2	社会思想史		2
公的扶助論		2	ソーシャルワークⅢ		2

社会保障論Ⅰ		2	外国にルーツをもつ住民の生活保障	1
社会福祉原論Ⅱ	2		司法福祉論	2
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		2	施設福祉論	2
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		2	社会福祉経営論	2
ソーシャルワークⅠ		2	保健医療と福祉	2
ソーシャルワークⅡ		2	医療福祉論Ⅱ	2
障害者福祉論		2	精神保健福祉論	4
歴史と現代社会		2	公共政策学	2
医学概論		2	福祉財政論	2
障害者コミュニケーション		2	社会政策論	2
社会福祉発達史Ⅰ		2	労働法	4
ふくしと経済		2	老年心理学	2
精神障害リハビリテーション論		2	障害者心理学	2
精神保健学Ⅰ		2	家族援助論	2
フィールド実践演習		4	障害児心理学	2
現代生活論		2	福祉行政とまちづくり	2
社会福祉発達史Ⅱ		2	社会福祉データ解析入門	2
地域福祉論Ⅰ		2	ケアマネジメント論	2
ふくしと政治		2	ケアマネジメント演習	2
ふくしと教育・学習		2	精神保健領域のソーシャルワークⅠ	2
ダイバーシティとソーシャルワーク		2	精神保健福祉援助演習Ⅰ	1
介護福祉論		2	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1
倫理学		2	福祉環境論	2
総合政策入門		2	社会保障論Ⅱ	2
現代社会入門		2	スクールソーシャルワーク論	2
地域福祉論Ⅱ		2	福祉教育論	1
社会福祉専門演習Ⅰ		4	在学ギャップイヤー	10
社会福祉専門演習Ⅱ	4		ソーシャルワーク演習Ⅲ	2
卒業論文		2	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1
子どもの文化・遊び研究		2	ソーシャルワーク実習	5
家族と地域の社会学		2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2
福祉法学（刑法と刑事政策）		2	社会福祉援助技術現場実習（教職）	2
福祉法学（民法・家族法）		2	カウンセリング（心理相談）	2
地域マネジメント実践Ⅰ		2	心理療法	2
政策形成実践特講Ⅰ		1	政策形成実践特講Ⅱ	2
経済政策論		2	ユースワーク	2

死生学	2	ソーシャルワークⅣ	2
ジェンダー論	2	子ども家庭ソーシャルワーク論	2
生活支援技術演習	2	精神保健領域のソーシャルワークⅡ	2
医療福祉論Ⅰ	2	精神保健福祉援助演習Ⅱ	2
地方自治論	2	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2
行政学Ⅰ	2	精神保健福祉援助実習	5
民法	4	ターミナルケア	2
行政法	4	医療ソーシャルワーク演習	1
発達心理学	2	医療ソーシャルワーク実習指導	2
臨床心理学	2	医療ソーシャルワーク実習	2
生涯学習論	2	権利擁護を支える法制度	2
社会的養護	2	地域マネジメント実践Ⅲ	2
福祉労働論	2	実習指導支援演習	2
ヒューマンケア論	2	トラウマインフォームド実践論	2
災害ソーシャルワーク	2	比較福祉国家論	2
子どもの保健	2	行政学Ⅱ	2
キャリアトレーニングⅠ	1	社会的企業論	2
キャリアトレーニングⅡ	2	社会正義論	2
キャリア実践Ⅰ	1	SDGs とまちづくり	2
キャリア実践Ⅱ	2	子どもの貧困・居場所論	2
精神保健学Ⅱ	2	保育・子育て支援論	1
保健社会学	2	ディスアビリティ・スタディーズ	2
精神医学Ⅰ	2	チームマネジメント論	2
精神医学Ⅱ	2	介護リーダー演習	2
リハビリテーション医学	2	疾患と生活支援	2
精神保健福祉制度論	2	認知症のある人への生活支援・連携	2
キャリアデザイン論	2	スクールソーシャルワーク演習	1
福祉 NPO 論	2	スクールソーシャルワーク実習指導	1
地域マネジメント実践Ⅱ	2	スクールソーシャルワーク実習	2
グローバルソーシャルワーク	2		

③自由科目

社会福祉学科

授業科目名	自由	授業科目名	自由
ビジネススキル	2	特別支援教育概論（中高）	2

教育原理（中高）	2	総合的な学習の時間の指導法（中高）	2
教職入門（中高）	2	特別活動方法論（中高）	2
教育制度論（中高）	2	生徒・進路指導論(中高)	2
教育と発達心理学（中高）	2	福祉科教育法Ⅱ	2
教育課程論（中高）	2	社会福祉特別講座Ⅱ	2
教育方法論（情報通信技術の活用含む）（中高）	2	社会福祉特別講座Ⅲ	2
教育相談の基礎と方法（中高）	2	教育実習Ⅰ（中高・事前事後）	1
福祉科教育法Ⅰ	2	教育実習Ⅲ（中高）	2
社会福祉特別講座Ⅰ	1	教職実践演習(中高)	2

(2) 経済学部

①総合基礎科目

経済学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
日本の歴史		4	自然地理学		2
法と社会（日本国憲法）		4	人文地理学		2
社会学		2	現代教養		2
法と人権		2	宗教学		2
心理学		2	地理学（地誌を含む）		4
政治学		2	日本史特講		2
現代のアジア		2	外国史特講		2
情報と社会		2	日本福祉大学の歴史と学び	2	
情報処理演習Ⅰ		2	キャリア形成Ⅰ		2
情報処理演習Ⅱ		2	キャリア形成Ⅱ		2
デジタルリテラシー		2	キャリア形成Ⅲ		2
健康・スポーツⅠ		2	キャリア形成Ⅳ		2
英語コミュニケーションⅠ	1		海外フィールドワークⅠ		2
英語コミュニケーションⅡ	1		海外フィールドワークⅡ		2
英語コミュニケーションⅢ	1		海外フィールドワークⅢ		4
英語コミュニケーションⅣ	1		海外フィールドワークⅣ		4
地域社会と共生		2	英語Ⅰ		2
教養演習		2	英語Ⅱ		2
基礎演習Ⅰ		2	英語Ⅲ		2
外国の歴史		4	ローカルフィールドワークⅠ		1
健康・スポーツⅡ		2	ローカルフィールドワークⅡ		1
スポーツと地域社会		2	ローカルフィールドワークⅢ		1
Business English		2	ローカルフィールドワークⅣ		1
哲学・倫理学		2	ローカルフィールドワークⅤ		1
キャリアプランニング		2	ローカルフィールドワークⅥ		1
基礎演習Ⅱ		2	ローカルフィールドワークⅦ		1
キャリア形成入門		2	ローカルフィールドワークⅧ		1
キャリア形成演習Ⅰ		2	日本語表現Ⅰ		1
キャリアサロンⅠ		2	日本語表現Ⅱ		1
キャリア形成演習Ⅱ		2	日本語表現Ⅲ		1
キャリアサロンⅡ		2	日本語表現Ⅳ		1
キャリア形成演習Ⅲ		2	日本語表現Ⅴ		1

キャリアサロンⅢ		2	日本語表現Ⅵ		1
キャリア実践Ⅰ		1	日本語表現Ⅶ		1
キャリア実践Ⅱ		2	日本語表現Ⅷ		1

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

経済学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
日本語Ⅰ	1		日本語Ⅴ	1	
日本語Ⅱ	1		日本語Ⅵ	1	
日本語Ⅲ	1		日本語Ⅶ	1	
日本語Ⅳ	1		日本語Ⅷ	1	

②専門科目

経済学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
経済学	4		地方財政論		2
日本経済史		2	行政学		2
世界経済史		2	経営者特別講義		2
統計学Ⅰ		2	パーソナルファイナンス		2
経済学のための数学	2		地域金融		2
簿記入門Ⅰ(ベーシック)		2	管理会計		2
簿記入門Ⅱ(トレーニング)		2	企業法Ⅰ(会社法)		2
スポーツ社会学		2	企業法Ⅱ(独禁法・金商法)		2
経営学		4	労働法		4
財政学		4	経営戦略		4
金融論		4	産業組織論		4
マクロ経済学		4	ベンチャー経営		2
ミクロ経済学		4	意思決定論		2
会計学		4	医療経営特別講義		2
法律学		4	シニアビジネスプランニング		2
専門演習Ⅰ		2	医療福祉経営論		4
地域研究プロジェクト		2	医療福祉会計		2
民法		4	医療情報管理		2
行政法		4	医療福祉関係法		2
地域経済論		4	経済とビジネス(労働・組織)		2
社会調査概論		2	経済とビジネス(社会・企業活動)		2

社会調査法Ⅰ	2	専門演習Ⅳ	2
社会調査法Ⅱ	2	専門演習Ⅴ	2
統計学Ⅱ	2	政策形成実践特講Ⅰ	1
地域研究	4	政策形成実践特講Ⅱ	2
統計データ分析の基礎Ⅰ	2	卒業論文	4
統計データ分析の基礎Ⅱ	2	簿記（初級）	2
証券論	2	簿記（中級）	2
財務会計	2	簿記（上級）	2
消費者法	2	租税法	2
国際経済	4	企業倫理	2
マーケティング	4	生産管理	2
経営組織	4	リスクマネジメント	1
人材マネジメント	4	イノベーション	1
アジア経済論	2	中小企業論	2
現代の医療と福祉	4	知的財産論	2
医療経済	2	サプライチェーンマネジメント	2
医学概論	2	経営財務論	2
高齢社会論	2	国際ビジネス	2
社会保障論	4	簿記応用Ⅰ（商業簿記）	2
専門演習Ⅱ	2	簿記応用Ⅱ（工業簿記・原価計算）	2
専門演習Ⅲ	2	事業創生プランニング	2
環境経済学	4	ビジネスサイエンス	2
公共経済学	2	ソーシャルビジネス	2
都市経済学	2	公共・社会貢献マネジメント	2
中小企業論	2	ゲーム理論	2
労働経済学	4	商法	2

③自由科目

経済学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2

(資格独自科目)

経済学科

授業科目名	自由	授業科目名	自由
教職入門 (中高)	2	社会科教育法Ⅱ	2
教育原理 (中高)	2	社会科教育法Ⅲ	2
教育と発達の心理学 (中高)	2	社会科教育法Ⅳ	2
特別支援教育概論 (中高)	2	公民科教育法Ⅰ	2
総合的な学習の時間の指導法 (中高)	2	公民科教育法Ⅱ	2
教育制度論 (中高)	2	地歴科教育法Ⅰ	2
教育課程論 (中高)	2	地歴科教育法Ⅱ	2
道徳教育の指導法 (中)	2	教育実習Ⅰ (中高・事前事後)	1
特別活動方法論 (中高)	2	教育実習Ⅱ (中高)	4
教育方法論 (情報通信技術の活用含む) (中高)	2	教育実習Ⅲ (中高)	2
生徒・進路指導論 (中高)	2	総合演習Ⅰ	2
教育相談の基礎と方法 (中高)	2	教職実践演習 (中高)	2
社会科教育法Ⅰ	2		

(3) 健康科学部

①総合基礎科目

リハビリテーション学科

授業科目名	理学療法学 専攻		作業療法学 専攻	
	必修	選択	必修	選択
基礎演習			2	
基礎演習Ⅰ	1			
基礎演習Ⅱ	1			
国際コミュニケーションⅠ		1		1
国際コミュニケーションⅡ		1		1
国際コミュニケーションⅢ				1
国際コミュニケーションⅣ				1
心理学		2		2
社会学		2		2
経済学		2		2
憲法		2		2
倫理学		2		2
健康科学概論		1		1
自然科学概論		2		2
統計学演習		2		1
情報処理演習		2		2
スポーツと健康Ⅰ		1		1
スポーツと健康Ⅱ		1		1
人間関係とコミュニケーション	2		2	
キャリア開発				1
日本福祉大学の歴史と学び	2		2	

②専門基礎科目

リハビリテーション学科

授業科目名	理学療法学 専攻		作業療法学 専攻	
	必修	選択	必修	選択
リハビリテーション概論	2		2	
人間発達学	1		1	
生化学		1		
生理学Ⅰ	2		2	
生理学Ⅱ	2		2	
生理学実習	1		1	
解剖学Ⅰ	2		2	
解剖学Ⅱ	2			
解剖学実習	2		1	
基礎運動学			2	
基礎運動学実習			1	
医学概論	1		1	
地域包括ケアシステム論	2		2	
臨床心理学	1		1	
小児科学	1		1	
老年学	1		1	
病理学	2		2	
整形外科	2		2	
内科学	2		2	
臨床神経科学	2		2	
精神科学	2		2	
栄養学	1		1	
疼痛医学	1			
薬理学	1		1	
救急医学	1		1	
医学英語Ⅰ	1			1
医学英語Ⅱ	1			1
公衆衛生学	2		2	

③専門科目

リハビリテーション学科理学療法学専攻

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
基礎運動学	2		ヘルスプロモーション		1
理学療法学概論	2		前庭リハビリテーション	2	
機能障害科学	1		理学療法特論	1	
物理療法学	2		がん理学療法学		1
物理療法学実習	2		統合理学療法学	2	
日常生活活動学	2		理学療法学研究Ⅰ	1	
日常生活活動学実習	2		理学療法学研究Ⅱ	1	
理学療法評価学Ⅰ	2		理学療法学研究Ⅲ	1	
理学療法評価学Ⅱ	2		見学実習前指導	1	
理学療法評価学Ⅰ実習	2		評価実習前指導	1	
理学療法評価学Ⅱ実習	2		総合実習前指導	1	
応用運動学	2		総合実習後指導	1	
運動学実習	2		見学実習	1	
運動療法学Ⅰ	1		評価実習	4	
運動療法学Ⅱ	2		総合実習	12	
運動療法学Ⅰ実習	1				
義肢装具学	2				
義肢装具学実習	1				
小児理学療法学	2				
高齢者理学療法学	1				
運動器理学療法学	2				
運動器理学療法学実習	2				
内部障害理学療法学	2				
内部障害理学療法学実習	2				
神経系理学療法学	2				
神経系理学療法学実習	2				
地域理学療法学	1				
地域理学療法学実習	1				
福祉住環境計画		2			
理学療法管理学	2				
医療統計学		1			
リハビリテーション工学		2			
スポーツ理学療法学	2				

リハビリテーション学科作業療法学専攻

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
作業療法学概論	1		生活環境介入論	1	
基礎作業学	2		福祉住環境計画		2
作業療法評価学Ⅰ	2		中枢神経障害のリハビリテーション	1	
作業療法評価学Ⅱ	1		整形外科系障害のリハビリテーション	1	
作業療法評価学Ⅲ	1		高次脳機能障害リハビリテーション	1	
作業療法評価学Ⅳ	1		精神障害リハビリテーション	1	
作業療法評価学実習Ⅰ	1		内科系障害リハビリテーション	1	
作業療法評価学実習Ⅱ	1		認知症リハビリテーション	1	
身体障害作業療法学Ⅰ	1		上肢運動機能リハビリテーション	1	
身体障害作業療法学Ⅱ	1		作業療法管理学	2	
身体障害作業療法学Ⅲ	1		リハビリテーション工学		2
身体障害作業療法学Ⅳ	1		総合作業療法学	1	
精神障害作業療法学Ⅰ	1		総合作業療法学演習	1	
精神障害作業療法学Ⅱ	1		作業療法学基礎演習	1	
神経系解剖生理学	2		作業療法学専門演習	1	
応用運動学	1		作業療法研究法	1	
運動器系解剖生理学Ⅰ	2		作業療法指導法演習	1	
運動器系解剖生理学Ⅱ	2		作業療法学研究Ⅰ	1	
解剖生理学実習	1		作業療法学研究Ⅱ	1	
日常生活活動学	2		見学実習指導	1	
日常生活活動学実習	1		評価実習指導	1	
リハビリテーション介護		1	総合実習指導	1	
作業療法介入法Ⅰ（実技）	1		見学実習	2	
作業療法介入法Ⅱ（実技）	1		評価実習	3	
作業療法介入法Ⅲ（実技）	1		総合実習Ⅰ	12	
老年期作業療法学	2		総合実習Ⅱ	5	
小児作業療法学Ⅰ	1				
小児作業療法学Ⅱ	1				
高次脳機能障害学	2				
義肢装具学	1				
環境因子調整法（実習）	1				
地域リハビリテーションⅠ	1				
地域リハビリテーションⅡ	1				
地域作業療法学実習	1				

④自由科目

リハビリテーション学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2

(4) 教育・心理学部

①総合基礎科目

こども学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
スポーツ実技	2		思春期のセクシャリティ		2
フレッシュマンイングリッシュ I-1	1		心理学概論		2
フレッシュマンイングリッシュ I-2		1	自然科学の世界		2
フレッシュマンイングリッシュ II-1	1		社会科学の世界		2
フレッシュマンイングリッシュ II-2		1	人文科学の世界		2
情報処理演習 I	2		総合演習 I		2
情報処理演習 II		2	ジェンダー論		2
言語と文化 I		1	人間発達学 B		2
言語と文化 II		1	市民社会の諸問題		2
海外フィールドワーク		4	日本国憲法	2	
人間発達学 A		2	スポーツと文化		2
保育実践入門		2	総合演習 II		2
教育実践入門		2	保育学基礎演習		2
障害学入門		2	アダプテッド・スポーツ		2

学校教育学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
スポーツ実技	2		思春期のセクシャリティ		2
フレッシュマンイングリッシュ I-1	1		心理学概論		2
フレッシュマンイングリッシュ I-2		1	自然科学の世界		2
フレッシュマンイングリッシュ II-1	1		社会科学の世界		2
フレッシュマンイングリッシュ II-2		1	人文科学の世界		2
情報処理演習 I	2		総合演習 I		2
情報処理演習 II		2	ジェンダー論		2
言語と文化 I		1	人間発達学 B		2
言語と文化 II		1	市民社会の諸問題		2
海外フィールドワーク		4	日本国憲法	2	
人間発達学 A		2	スポーツと文化		2
保育実践入門		2	総合演習 II		2
教育実践入門		2	教育学基礎演習		2
障害学入門		2	アダプテッド・スポーツ		2

心理学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
スポーツ実技		2	思春期のセクシャリティ		2
フレッシュマンイングリッシュ I-1	1		心理学概論	2	
フレッシュマンイングリッシュ I-2		1	自然科学の世界		2
フレッシュマンイングリッシュ II-1	1		社会科学の世界		2
フレッシュマンイングリッシュ II-2		1	人文科学の世界		2
情報処理演習 I		2	総合演習 I		2
情報処理演習 II		2	ジェンダー論		2
言語と文化 I		1	人間発達学 B		2
言語と文化 II		1	市民社会の諸問題		2
海外フィールドワーク		4	日本国憲法		2
日本福祉大学の歴史と学び	2		スポーツと文化		2
人間発達学 A		2	総合演習 II		2
保育実践入門		2	心理学基礎演習		2
教育実践入門		2	アダプテッド・スポーツ		2
障害学入門		2			

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

こども学科・学校教育学科・心理学科

授業科目名	子ども発達学科		学校教育学科		心理学科	
	必修	選択	必修	選択	必修	選択
日本語と文化 I -1	1		1		1	
日本語と文化 I -2	1		1		1	
日本語と文化 II -1	1		1		1	
日本語と文化 II -2	1		1		1	
日本語と文化 III -1	1		1		1	
日本語と文化 III -2	1		1		1	
日本語と文化 IV -1	1		1		1	
日本語と文化 IV -2	1		1		1	

②専門科目

こども学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
保育原理Ⅰ		2	子ども理解の理論と方法		1
保育原理Ⅱ		2	教育・臨床相談の基礎演習		1
教育原理(幼保)		2	保育カンファレンス演習		1
教育と発達の心理学(幼保)		2	子どもの食と栄養演習		2
保育・教育制度論		2	子ども家庭支援の心理学		2
保育方法論Ⅰ		2	子どもの理解と援助		1
保育方法論Ⅱ		2	子どもの保健		2
保育職論		2	乳児保育論		2
社会福祉論		2	乳児保育演習		2
保育・教育課程論		2	障害児保育演習		2
特別支援教育概論(幼)		2	子どもの健康と安全		1
子ども家庭福祉論Ⅰ		2	ソーシャルワーク演習		1
子ども家庭福祉論Ⅱ		2	社会的養護内容演習		1
子ども家庭支援論		2	子育て支援演習		2
社会的養護		2	教育実習Ⅰ(幼・事前事後)		1
教育福祉論		2	教育実習Ⅱ(幼)		4
障害者論		2	保育・教職実践演習		2
学童保育論		2	保育実習ⅠA(保育所)		2
保育内容演習		2	保育実習指導ⅠA(保育所)		1
乳幼児と音楽(演習)		2	保育実習ⅠB(施設)		2
乳幼児と造形(演習)		2	保育実習指導ⅠB(施設)		1
乳幼児と健康(演習)		2	保育実習Ⅱ(保育所)		2
乳幼児と言葉(演習)		2	保育実習指導Ⅱ(保育所)		1
乳幼児と人間関係		2	保育実習Ⅲ(施設)		2
乳幼児と環境		2	保育実習指導Ⅲ(施設)		1
からだと健康(保育内容A)		2	こども学専門演習Ⅰ	4	
仲間と交わり(保育内容B)		2	こども学専門演習Ⅱ	4	
生活と環境(保育内容C)		2			
発達と言葉(保育内容D)		2			
感性と表現(保育内容E)		2			
音楽表現		2			
造形表現		2			
身体表現		2			

学校教育学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
教職入門		2	国語科教育法		2
教育と発達の心理学		2	社会科教育法		2
教育原理		2	図画工作教育法		2
教育制度論		2	音楽科教育法		2
特別支援教育概論		2	体育科教育法		2
教育課程論		2	算数科教育法		2
教育方法論（情報通信技術の活用含む）		2	理科教育法		2
生徒・進路指導論		2	生活科教育法		2
学校教育演習		2	家庭科教育法		2
道徳教育の理論と方法		2	外国語教育法		2
特別活動方法論		2	総合的な学習の時間の指導法		2
教育相談の基礎と方法		2	音楽専門研究Ⅱ		2
特別ニーズ教育論		2	造形専門研究Ⅱ		2
国語科研究		2	スポーツ専門研究Ⅱ		2
社会科研究		2	中等社会科教育法A		2
算数科研究		2	中等社会科教育法B		2
音楽専門研究Ⅰ		2	中等社会科教育法C		2
造形専門研究Ⅰ		2	中等社会科教育法D		2
スポーツ専門研究Ⅰ		2	教職インターンシップⅠ		2
理科研究		2	教育実習Ⅰ（小・事前事後）		1
生活科研究		2	教育実習Ⅱ（小）		4
家庭科研究		2	教育実習Ⅰ（中・事前事後）		1
外国語研究		2	教育実習Ⅱ（中）		4
家族社会学		2	教職インターンシップⅡ		2
日本史概論		2	教職実践演習（小中）		2
外国史概論		2	特別支援教育論		2
地理学概論		2	知的障害児教育論		2
法学概論		2	知的障害児指導法		2
政治学概論		2	肢体不自由児教育論		2
社会学概論		2	肢体不自由児指導法		2
経済学概論		2	特別支援教育課程論		2
哲学概論		2	聴覚障害児指導法		2
日本史特講		2	重度重複障害児教育論		2
近現代史		2	重度重複障害児指導法（総論）		2

自然地理学		2	発達障害児指導法	2
人文地理学		2	障害児教育特論	2
政治学特講		2	障害児教育実習Ⅰ（事前事後）	1
法学特講		2	障害児教育実習Ⅱ	2
社会学特講		2	知的障害児の心理	2
経済学特講		2	知的障害児の生理と病理	2
哲学特講		2	肢体不自由児の心理	2
倫理学概論		2	肢体不自由児の生理と病理	2
宗教学概論		2	視覚・聴覚・病弱児論	2
倫理学特講（死生学）		2	発達障害児論	2
社会福祉論		2	聴覚障害児の心理・生理・病理	2
子ども家庭福祉論Ⅰ		2	病弱児の心理・生理・病理	2
子ども家庭福祉論Ⅱ		2	動作法	2
学校福祉論		2	障害児アセスメント演習	2
教育福祉論		2		
司法福祉論		2		
学童保育論		2		
学校教育学専門演習Ⅰ	4			
学校教育学専門演習Ⅱ	4			

心理学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
発達心理学		2	動作法		2
感情・人格心理学		2	社会福祉論		2
心理学研究法	2		子ども家庭福祉論Ⅰ		2
教育・学校心理学		2	子ども家庭福祉論Ⅱ		2
心理データ処理演習		2	教育福祉論		2
心理学実験	2		哲学概論		2
心理学統計法		2	宗教学概論		2
学習・言語心理学		2	倫理学概論		2
社会・集団・家族心理学		2	死生学		2
神経・生理心理学		2	心理学発展演習		2
論文・外書講読		2	心理学専門演習Ⅰ	4	
コミュニティ心理学		2	心理学専門演習Ⅱ	4	
対人関係論		2	心理学研究法演習		2
知覚・認知心理学		2	心理演習		2
色彩心理学		2	心理支援演習		2
心理調査概論		2	臨床心理学演習		2
臨床心理学概論		2	心理実習Ⅰ		4
心理学的支援法		2	心理実習Ⅱ		4
精神疾患とその治療		2	心理的アセスメント		2
学校心理臨床論		2	心理療法特講		2
神経症と心身症		2	心理アセスメント演習		2
人体の構造と機能及び疾病		2	臨床面接法演習		2
健康・医療心理学		2	消費者心理学		2
福祉心理学		2	心理学応用実験		2
児童心理支援論		2	キャリアトレーニングⅠ		1
高齢者心理支援論		2	キャリアトレーニングⅡ		2
心理療法論		2	コミュニケーションスキル演習Ⅰ		2
司法・犯罪心理学		2	コミュニケーションスキル演習Ⅱ		2
関係行政論		2	多変量解析		2
公認心理師の職責		2	質的データの解析		2
支援者の心理		2	産業・組織心理学		2
知的障害児の生理と病理		2	ホスピタリティの心理学		2
発達障害児論		2	ビジネス心理学演習		2
聴覚障害児の心理・生理・病理		2			
障害者・障害児心理学		2			
肢体不自由児の心理		2			

③自由科目

こども学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2
キャリア実践Ⅰ	1
キャリア実践Ⅱ	2

学校教育学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2
キャリア実践Ⅰ	1
キャリア実践Ⅱ	2

心理学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2
キャリア実践Ⅰ	1
キャリア実践Ⅱ	2

(5) 国際学部

①総合基礎科目

国際学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
心理学		2	フィールドワーク入門		1
社会学		2	基礎演習Ⅰ	2	
法と社会（日本国憲法）		4	基礎演習Ⅱ	2	
健康・スポーツ		2	日本福祉大学の歴史と学び	2	
グローバルスタディーズ入門		2	英語能力Ⅰ		2
アジアのローカル言語と文化		2	英語能力Ⅱ		2
英語総合基礎Ⅰ		1	英語能力Ⅲ		2
英語総合基礎Ⅱ		1	中国語能力Ⅰ		2
情報処理演習Ⅰ		2	中国語能力Ⅱ		2
情報処理演習Ⅱ		2	中国語能力Ⅲ		2
国際フィールドワークⅠ		4	韓国語能力Ⅰ		2
くらしと社会		2	韓国語能力Ⅱ		2
英語コミュニケーションⅠ		1	韓国語能力Ⅲ		2
英語コミュニケーションⅡ		1	日本語能力Ⅰ		2
English PresentationⅠ		2	日本語能力Ⅱ		2
English PresentationⅡ		2	IT能力		2
グローバル教養		2			

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

国際学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
日本語Ⅰ		1	日本語Ⅵ		1
日本語Ⅱ		1	日本語Ⅶ		1
日本語Ⅲ		1	日本語Ⅷ		1
日本語Ⅳ		1	Japan Area StudiesⅠ		4
日本語Ⅴ		1	Japan Area StudiesⅡ		8

②専門基礎科目

国際学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
国際交流ファシリテーション演習Ⅰ		2	専門演習Ⅰ		2
国際交流ファシリテーション演習Ⅱ		2	専門演習Ⅱ		2
国際交流ファシリテーション演習Ⅲ		2	卒業研究Ⅰ		2
国際交流ファシリテーション演習Ⅳ		2	卒業研究Ⅱ		2
国際交流ファシリテーション演習Ⅴ		1	ビジネス日本語		2
Listening & ReadingⅠ		1	アカデミックライティング		2
Listening & ReadingⅡ		1	日本語学Ⅰ		2
Writing & CommunicationⅠ		2	対照言語学		2
Writing & CommunicationⅡ		2	日本語教育概論		2
Writing & CommunicationⅢ		2	英語学概論		2
Writing & CommunicationⅣ		2	言語と文化Ⅰ（中国語）		1
異文化理解		2	言語と文化Ⅱ（中国語）		1
現代福祉		2	言語と文化Ⅰ（韓国語）		1
対面コミュニケーション実践		2	言語と文化Ⅱ（韓国語）		1
社会調査		2	多文化共生概論		2
国際フィールドワークⅡ		4	コーチング論		2
国際フィールドワークⅢ		2	メディアデザイン		2
国際フィールドワークⅣ		2	情報管理概論		2
国際フィールドワークⅤ		8	キャリア実践Ⅰ		1
国際フィールドワークⅥ		8	キャリア実践Ⅱ		2
English PresentationⅢ		2	グローバル就業実践Ⅰ		2
English PresentationⅣ		2	グローバル就業実践Ⅱ		4
English PresentationⅤ		1	日本の中の多文化		2
総合演習Ⅰ	2		共生社会とデータサイエンス		2
総合演習Ⅱ	2		ネットワークデザイン		2
地域共生社会づくり演習Ⅰ		2	参加型のまちづくり		2
地域共生社会づくり演習Ⅱ		2	地域共生に向けた通訳・翻訳実践		2
ビジネスリテラシー		2	卒業論文		2
ジェンダー論		2			

③専門科目

国際学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
国際協力		2	環境と開発		2
アジアの経済社会		2	国際保健		2
ニュース英語		2	日本語教育法Ⅰ		2
グローバルキャリアデザイン		2	日本語教育法Ⅱ		2
経営学概論		2	教職インターンシップ		2
グローバル企業ケーススタディ		2	英語文学史		2
社会言語学		2	英語文学講義Ⅰ		2
言語と文化Ⅲ（中国語）		1	英語文学講義Ⅱ		2
言語と文化Ⅲ（韓国語）		1	地域福祉論		2
英語表現論Ⅰ		2	福祉経営論Ⅰ		2
英語表現論Ⅱ		2	福祉経営論Ⅱ		2
日本語音声学		2	NPO/NGO論		2
英語学演習		2	持続可能な開発のための教育		2
英語音声学		2	開発人類学		2
英語総合コミュニケーションⅠ		2	国際福祉開発		2
英語総合コミュニケーションⅡ		2	日本語学Ⅱ		2
英語総合コミュニケーションⅢ		2	第二言語習得		2
英語総合コミュニケーションⅣ		2	Advanced WritingⅠ		2
観光英語		2	Advanced WritingⅡ		2
福祉社会開発		2	Intensive ReadingⅠ		2
英語科教育法Ⅰ		2	Intensive ReadingⅡ		2
英語科教育法Ⅱ		2	Extensive ReadingⅠ		1
英語科教育法Ⅲ		2	Extensive ReadingⅡ		1
英語科教育法Ⅳ		2	ソーシャルビジネス論		2
国際開発と障害学		2			

④自由科目

国際学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2

(資格独自科目)

国際学科

授業科目名	自由	授業科目名	自由
教職入門 (中高)	2	生徒・進路指導論 (中高)	2
教育原理 (中高)	2	教育相談の基礎と方法 (中高)	2
教育と発達心理学 (中高)	2	教育実習Ⅰ (中高・事前事後)	1
特別支援教育概論 (中高)	2	教育実習Ⅱ (中高)	2
総合的な学習の時間の指導法 (中高)	2	教育実習Ⅲ (中高)	2
教育制度論 (中高)	2	教職実践演習 (中高)	2
教育課程論 (中高)	2	日本語教材検討	2
道徳教育の指導法 (中)	2	日本語教育による評価	2
特別活動方法論 (中高)	2	日本語学演習	2
教育方法論 (情報通信技術の活用含む) (中高)	2	日本語教育実習	4

(6) 看護学部

①総合基礎科目

看護学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
英語コミュニケーションⅠ	1		健康・スポーツⅡ		1
英語コミュニケーションⅡ	1		日本の歴史		4
英語コミュニケーションⅢ	1		心理学		2
英語コミュニケーションⅣ	1		政治学		2
基礎ゼミナールⅠ	1		哲学		2
基礎ゼミナールⅡ	1		グローバル教養		2
化学	2		異文化理解		2
情報処理演習		2	法と社会（日本国憲法）		4
健康・スポーツⅠ		1	社会学		2

②専門基礎科目

看護学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
人間の形態と機能Ⅰ	2		臨床薬理学	1	
人間の形態と機能Ⅱ	1		臨床検査学	1	
生化学	1		臨床栄養学	1	
微生物学	1		健康管理学	2	
人間工学	1		保健行動論	2	
ストレス心理学	1		公衆衛生学	2	
人間関係論	1		社会福祉学	2	
病理学	1		家族社会学	2	
疾病論（内科系）	2		疫学	2	
疾病論（外科系）	2		保健医療福祉政策論	2	
疾病論（小児系）	1		保健医療統計学	1	
疾病論（母性系）	1		老年学		1
疾病論（精神系）	1				

③専門科目

看護学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
看護学概論 (概念・理論・歴史)	2		在宅看護論	2	
看護管理概論Ⅰ	1		在宅看護方法論	2	
看護管理概論Ⅱ	1		在宅看護論実習	2	
看護倫理	1		地域看護学概論	1	
災害看護	1		公衆衛生看護学概論	1	
看護過程演習	1		公衆衛生看護方法論Ⅰ	2	
看護技術演習Ⅰ	2		看護学研究方法論	1	
看護技術演習Ⅱ	1		卒業研究Ⅰ	1	
看護技術演習Ⅲ	1		卒業研究Ⅱ	1	
看護技術演習Ⅳ	1		看護統合実習	2	
基礎看護学実習Ⅰ	1		多職種連携論	1	
基礎看護学実習Ⅱ	2		看護感染論		2
成人看護学概論	2		看護教育論		2
成人慢性期看護方法論	2		緩和ケア論		2
成人急性期看護方法論	2		リハビリテーション看護論		2
老年看護学概論	2		国際看護論		2
老年看護方法論	2		家族看護論		2
小児看護学概論	2		統合看護基礎技術演習		1
小児看護方法論	2		チーム医療連携演習		1
母性看護学概論	2		国際保健演習		1
母性看護方法論	2		多職種連携実践論		1
精神看護学概論	2		公衆衛生看護方法論Ⅱ		2
精神看護方法論	2		公衆衛生看護方法論Ⅲ		2
慢性期看護学実習	3		公衆衛生看護方法論Ⅳ		1
急性期看護学実習	3		公衆衛生看護管理活動論		2
地域看護学実習	1		保健医療福祉政策論演習		2
老年看護学実習Ⅰ	1		公衆衛生看護学実習Ⅰ		3
老年看護学実習Ⅱ	2		公衆衛生看護学実習Ⅱ		2
小児看護学実習	2				
母性看護学実習	2				
精神看護学実習	2				

(7) スポーツ科学部

①総合基礎科目

スポーツ科学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
経営学		2	海外フィールドワーク		4
スポーツ統計学Ⅰ（基礎）		2	スポーツ実技	2	
社会学		2	政治学		2
哲学		2	キャリア開発Ⅱ		2
キャリア開発Ⅰ		2	スポーツイングリッシュⅠ		1
日本国憲法		2	経済学		2
フレッシュマンイングリッシュⅠ-1	1		スポーツイングリッシュⅡ		1
フレッシュマンイングリッシュⅠ-2		1	生命と環境		2
フレッシュマンイングリッシュⅡ-1	1		日本福祉大学の歴史と学び	2	
フレッシュマンイングリッシュⅡ-2		1	キャリア実践Ⅰ		1
情報処理演習Ⅰ	2		キャリア実践Ⅱ		2
情報処理演習Ⅱ		2			

(外国人留学生・帰国生徒の特例科目)

スポーツ科学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
日本語と文化Ⅰ-1		1	日本語と文化Ⅲ-1		1
日本語と文化Ⅰ-2		1	日本語と文化Ⅲ-2		1
日本語と文化Ⅱ-1		1	日本語と文化Ⅳ-1		1
日本語と文化Ⅱ-2		1	日本語と文化Ⅳ-2		1

②専門科目

スポーツ科学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
生理学		2	スポーツ指導法演習（テニス）		1
スポーツ科学入門	2		スポーツ指導法演習（バドミントン）		1
スポーツ史		2	スポーツ指導法演習（卓球）		1
スポーツ文化論		2	スポーツ指導法演習（ゴルフ）		1
スポーツビジネス		2	スポーツ指導法演習（エアロビクス）		1
発育発達論（運動発達・認識発達・ことばの発達）		2	スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツⅠ）		1
機能解剖学		2	スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツⅡ）		1
認知心理学		2	保健体育科教育法Ⅰ（授業づくりの基礎理論）		2

健康管理概論		2	保健体育科教育法Ⅱ-A (陸上・器械運動)		2
学校保健A (小児・精神)		2	保健体育科教育法Ⅱ-B (球技・水泳)		2
野外スポーツ論		2	保健体育科教育法Ⅱ-C (武道)		2
スポーツ社会学	2		保健体育科教育法Ⅱ-D (ダンス・体育理論)		2
ふくしスポーツ論	2		保健体育科教育法Ⅲ (授業づくり)		2
スポーツ哲学	2		導入ゼミ	2	
スポーツマネジメント		2	スポーツフィールドワークⅠ	2	
スポーツ教育学		2	専門演習Ⅰ	2	
スポーツキャリア教育		2	専門演習Ⅱ	4	
スポーツ統計学Ⅱ (応用)		2	地域スポーツ論		2
スポーツと脳		2	武道論		2
スポーツ生理学	2		スポーツジェンダー論		2
スポーツ心理学		2	スポーツ医学B (外科系)		2
障害者スポーツ論	2		トレーニング科学	2	
スポーツ倫理学		2	測定・評価		2
身体表現・芸術表現論		2	メンタルトレーニング		2
スポーツ・運動指導者論		2	知的障害児教育論		2
スポーツ医学A (内科系)		2	スポーツ科学演習	2	
スポーツ栄養学		2	スポーツコミュニケーション		2
コーチング科学		2	スポーツメディア論		2
特別支援教育論		2	レクリエーション理論		2
肢体不自由児教育論		2	衛生・公衆衛生学		2
インクルーシブ体育		2	学校保健B (学校・救急処置)		2
スポーツバイオメカニクス		2	肢体不自由児の心理		2
スポーツ人類学		2	肢体不自由児の生理と病理		2
専門実技 (バレーボール)		1	障害者スポーツ指導法演習A		1
専門実技 (柔道)		1	ふくしスポーツ演習		2
専門実技 (アダプテッド・スポーツ)		1	スポーツ政策・行政論		2
専門実技 (サッカー)		1	スポーツ法学		2
専門実技 (バドミントン)		1	アスレティックリハビリテーション		2
専門実技 (野外運動B)		1	加齢学		2
専門実技 (野外運動C)		1	肢体不自由児指導法		2
専門実技 (ソフトボール)		1	障害者スポーツ指導法演習B		1
専門実技 (テニス)		1	コンディショニング演習		2
専門実技 (卓球)		1	スポーツフィールドワークⅡ-1		2
専門実技 (剣道)		1	スポーツフィールドワークⅡ-2		2

スポーツ指導法演習（陸上）	1	専門実技（ダンス）	1
スポーツ指導法演習（バスケットボール）	1	専門実技（野外運動A）	1
スポーツ指導法演習（水泳・水中運動）	1	専門実技（陸上）	1
スポーツ指導法演習（ダンス）	1	専門実技（バスケットボール）	1
スポーツ指導法演習（バレーボール）	1	専門実技（器械運動）	1
スポーツ指導法演習（サッカー）	1	専門実技（水泳）	1

③自由科目

スポーツ科学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
教職入門（中高）		2	発達障害児論		2
知的障害児の心理		2	特別支援教育課程論		2
視覚・聴覚・病弱児論		2	特別活動方法論（中高）		2
教育原理（中高）		2	重度重複障害児指導法（総論）		2
教育と発達の心理学（中高）		2	教育実習Ⅰ（中高・事前事後）		1
特別支援教育概論（中高）		2	教育実習Ⅱ（中高）		4
総合的な学習の時間の指導法（中高）		2	教育実習Ⅲ（中高）		2
教育制度論（中高）		2	障害児教育実習Ⅰ（事前事後）		1
教育課程論（中高）		2	障害児教育実習Ⅱ		2
教育相談の基礎と方法（中高）		2	教職実践演習（中高）		2
知的障害児の生理と病理		2	健康運動特論Ⅰ		2
道徳教育の指導法（中高）		2	健康運動特論Ⅱ		2
教育方法論（情報通信技術の活用含む）（中高）		2	健康運動特論Ⅲ		1
知的障害児指導法		2	健康産業施設現場実習		2
生徒・進路指導論（中高）		2	ビジネススキル		2

(8) 工学部

①総合基礎科目

工学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
国際コミュニケーションⅠ		1	健康科学概論		1
国際コミュニケーションⅡ		1	自然科学概論		2
心理学		2	情報処理演習	2	
社会学		2	スポーツと健康Ⅰ		1
経済学		2	スポーツと健康Ⅱ		1
憲法		2	国際理解		4
倫理学		2			

②専門基礎科目

工学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
基礎数学Ⅰ	2		情報処理Ⅱ		2
基礎数学Ⅱ		2	情報処理Ⅲ		2
AI 建築入門		1	福祉情報処理		2
確率統計学演習		2	オペレーティングシステム演習		1
社会調査法		2	論理回路		2
情報数学Ⅰ		2	建築デザイン入門		2
情報数学Ⅱ		2	環境建築入門		2
情報処理Ⅰ		2			

③専門科目

工学科

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
アシティブテクノロジーⅠ		2	建築計画Ⅰ		2
キャリア開発		2	建築フィールドワーク		2
キャリア研究		2	建築人間工学		2
卒業研究Ⅰ	2		建築デザイン表現演習		2
AI 建築演習		2	建築構造力学		2
情報・建築アントレプレナーシップセミナー		2	建築法規		2
卒業研究Ⅱ	2		生態学概論		2
卒業研究Ⅲ	4		建築計画Ⅱ		2
プログラミング演習Ⅰ		2	建築設計演習Ⅰ		4

プログラミング演習Ⅱ	2	エコロジカル建築	2
コンピュータシステムⅠ	2	建築材料Ⅱ	2
コンピュータシステムⅡ	2	建築構造力学応用	2
力学基礎	2	建築ユニバーサルデザイン論	2
ユーザインタフェースⅠ	2	建築設計演習Ⅱ	4
ユーザインタフェースⅡ	2	建築生産	2
ITビジネス論	2	都市計画論	2
データ構造とアルゴリズムⅠ	2	建築CAD演習	2
オブジェクト指向プログラミング演習Ⅰ	2	環境政策論	2
オブジェクト指向プログラミング演習Ⅱ	2	都市景観生態学	2
福祉用具演習	1	近代建築史	2
情報アクセシビリティ	2	ランドスケープ設計演習	2
リハビリテーション工学	2	建築測量実習	2
アシスティブテクノロジーⅡ	2	建築一般構造	2
人工知能Ⅰ	2	エコロジカル建築設計演習	4
システム設計論	2	福祉環境論	2
UXデザイン演習	2	総合BIM演習	2
情報工学実験Ⅰ	2	建築防災計画	2
情報ネットワークⅠ	2	都市緑化論	2
Webプログラミング演習	1	福祉住環境計画	2
データベース演習	1	建築設備	2
データ構造とアルゴリズムⅡ	2	建築一般構造応用	2
情報ネットワークⅡ	2	建築環境工学	2
人工知能Ⅱ	2	福祉環境設計演習	4
情報工学実験Ⅱ	1	環境経済学	2
住環境整備	2	ビオトープ計画施工演習	4
マルチメディアⅠ	2	環境分析評価演習	2
CAD演習Ⅰ	1	造園学	2
CAD演習Ⅱ	1	環境共生のまちづくり	2
組込みプログラミング演習	1	森林保護学	2
モバイルアプリケーション演習	2	企業・行政研究	2
情報セキュリティ	2	ビオトープ研究	2
マルチメディアⅡ	2	情報技術Ⅰ	2
福祉用具プランニング演習Ⅰ	1	情報技術Ⅱ	2
福祉用具プランニング演習Ⅱ	1	情報技術Ⅲ	2
情報総合演習	1	情報技術Ⅳ	2

マルチメディアと AI		2	キャリア形成 I		2
建築図学		2	キャリア形成 II		2
建築学概論		2	キャリア形成 III		2
建築材料 I		2	キャリア形成 IV		2
西洋・日本建築史		2	キャリア実践 I		1
建築製図演習		4	キャリア実践 II		2

④自由科目

工学科

授業科目名	自由
ビジネススキル	2

(9) 全学教育センター科目

授業科目名	必修	選択	授業科目名	必修	選択
日本福祉大学の歴史		2	ふくしフィールドワーク実践A		2
日本福祉大学の歴史と学び		2	ふくしフィールドワーク実践B		2
知多学		2	ふくしフィールドワーク実践C		2
知多半島のふくし		2	ふくしと減災コミュニティ		2
ヒューマンケアのための多職種連携		2	地震と減災社会		2
福祉の力		2	コミュニケーション力演習		2
こころとからだ		2	日本福祉大学特別演習A		1
福祉社会入門		2	日本福祉大学特別演習B		1
視覚障害者支援論		2	日本福祉大学特別演習C		1
ろう文化と手話		2	日本福祉大学特別演習D		1
聴覚障害者の理解と支援		1	日本福祉大学特別演習E		1
スポーツ・文化特講Ⅰ		2	国内留学フィールド・スタディⅠ		1
スポーツ・文化特講Ⅱ		2	国内留学フィールド・スタディⅡ		1
ふくしとフィールドワーク		2	国内留学フィールド・スタディⅢ		1
法入門		2	海外英語研修		2
文章作成力演習		2	言語と文化Ⅰ		1
ふくしフィールドワーク実践		2	言語と文化Ⅱ		1

(10) 幼稚園免許取得に関する特例科目

教育・心理学部こども学科

授業科目名	単位数
教職入門（特例）	2
教育制度論（特例）	2
保育課程論（特例）	1
保育内容と方法（特例）	2
幼児理解の理論と方法（特例）	1

(11) 保育士資格取得に関する特例科目

社会福祉学部社会福祉学科

授業科目名	単位数
福祉と養護	2
子ども家庭支援論	2
保健と食と栄養	2
乳児保育	2

別表 2

大学入試センター利用入学試験の検定料	15,000円
同日同種の入学試験で併願が認められている場合に、1追加出願するための検定料	5,000円
大学入試センター利用入学試験以外の入学試験の検定料	25,000円
転籍試験（転学部）の検定料	20,000円
転籍試験（転科・転専攻・転専修）の検定料	10,000円

別表 3

	入学金 (入学時のみ)	授業料 (年額)	施設維持費 (年額)	実験実習費 (年額)	備考
社会福祉学部 社会福祉学科	200,000円	885,000円	190,000円	—	
経済学部 経済学科	200,000円	885,000円	200,000円	—	
健康科学部 リハビリテーション学科	200,000円	975,000円	435,000円	210,000円	
教育・心理学部 こども学科	200,000円	885,000円	190,000円	—	
教育・心理学部 学校教育学科	200,000円	885,000円	190,000円	—	
教育・心理学部 心理学科	200,000円	885,000円	190,000円	—	
国際学部 国際学科	200,000円	885,000円	200,000円	—	
看護学部 看護学科	200,000円	1,015,000円	400,000円	285,000円	
スポーツ科学部 スポーツ科学科	200,000円	900,000円	360,000円	—	
工学部 工学科	200,000円	975,000円	350,000円	—	

別表 4

学部等	資格課程	課程登録費
社会福祉学部 社会福祉学科	高等学校（福祉）教諭免許状	37,000 円
	スクールソーシャルワーク教育課程	20,000 円
経済学部 経済学科	中学校（社会）、高等学校（公民）、高等学校（地歴）教諭免許状	37,000 円
教育・心理学部 心理学科	公認心理師資格取得学士課程	25,000 円
国際学部 国際学科	中学校（英語）、高等学校（英語）教諭免許状	37,000 円
	日本語教師（主専攻）	10,000 円
スポーツ科学部 スポーツ科学科	中学校（保健体育）、高等学校（保健体育）教諭免許状	37,000 円
	中学校（保健体育）、高等学校（保健体育）、特別支援学校教諭免許状	57,000 円

別表 5

学部等	科目名	実習費
社会福祉学部 社会福祉学科	ソーシャルワーク実習入門	1,800 円
	ソーシャルワーク実習	115,000 円
	精神保健福祉援助実習	125,000 円
	医療ソーシャルワーク実習	30,400 円
	教育実習Ⅱ(中高)・Ⅲ(中高)*	※
	障害児教育実習	※
	社会福祉援助技術現場実習(教職)	30,400 円
	海外フィールドワーク** (オーストラリア) (インド) (フィリピン)	400,000 円 300,000 円 320,000 円
経済学部 経済学科	教育実習Ⅱ(中高)・Ⅲ(中高)*	※
	海外事情研究** (オーストラリア) (インド)	400,000 円 300,000 円
	海外フィールドワークⅢ** (フィリピン)	320,000 円
教育・心理学部 こども学科	教育実習Ⅱ(幼)	16,000 円
	保育実習ⅠA(保育所)	14,000 円
	保育実習ⅠB(施設)	20,000 円
	保育実習Ⅱ(保育所)	14,000 円
	保育実習Ⅲ(施設)	20,000 円
	海外フィールドワーク** (オーストラリア) (インド) (フィリピン)	400,000 円 300,000 円 320,000 円
	教育・心理学部 学校教育学科	教育実習Ⅱ(小)*、 教育実習Ⅱ(中)*、障害児教育実習Ⅱ
	海外フィールドワーク** (オーストラリア) (インド) (フィリピン)	400,000 円 300,000 円 320,000 円

教育・心理学部 心理学科	心理実習Ⅱ	10,000円
	海外フィールドワーク**	
	(オーストラリア)	400,000円
	(インド)	300,000円
	(フィリピン)	320,000円
国際学部 国際学科	教育実習Ⅱ(中高)・Ⅲ(中高)*	※
	国際フィールドワークⅠ・Ⅱ**	
	(オーストラリア)	400,000円
	(インド)	300,000円
	(フィリピン)	320,000円
	(マレーシア)	280,000円
	(カンボジア)	250,000円
	(アメリカ)	330,000円
	(日本)	120,000円
スポーツ科学部 スポーツ科学科	教育実習Ⅱ(中高)・Ⅲ(中高)*	※
	障害児教育実習Ⅱ	※
	海外フィールドワーク**	
	(オーストラリア)	400,000円
	(インド)	300,000円
	(フィリピン)	320,000円
工学部 工学科	国際理解**	
	(オーストラリア)	400,000円
	(インド)	300,000円
	(フィリピン)	320,000円

* 教育実習を小学校あるいは中学校で行う場合、上記の他に愛知県社会福祉協議会が定める介護等体験費用(8,500円程度)を徴収する。

**外国為替や航空運賃等の変動を踏まえて、毎年、最終確定額を公示する。

※教育実習費は実習受入先学校により異なる。平均額は12,000円。

別表 6

入学検定料	9,000円
入学料	16,500円
研究料(年額)	38,500円

別表 7

入学検定料		10,000円
入学金		20,000円
履修料	講義	1単位につき10,000円
	教職実践演習 保育・教職実践演習を含む (教職課程開講科目)	1単位につき10,000円
	高等学校福祉科 社会福祉援助技術現場実習 (教職課程開講科目)	1単位につき15,000円
	保育実習	1単位につき10,000円
	演習 (保育課程開講科目)	1単位につき10,000円

別表 8

入学検定料	9,000円
入学料	16,500円
聴講料 (1単位)	(講義) 5,500円

別表 9

在籍料 (1学期につき)	30,000円
--------------	---------

別表 10

入学検定料	10,000円	
入学金・継続料	10,000円	
特例科目登録料	1年につき25,000円	
特例科目履修料	単位履修料	1単位につき6,200円
	スクーリング履修料	1科目につき5,000円

ただし、令和4年度以前の入学者については「特例科目登録料」「特例科目履修料」
とも令和5年度のみ従前の適用とする。